

令和 6 年 10 月 号

シケルペ

～鹿部駐在所広報紙～



鹿部駐在 7-2861
作成 竹本 恵一

みんなで築こう、安全で安心な大地！！



10月11～20日まで全国地域安全運動が実施されます。

地域住民の見守りの目を増やすことで犯罪の未然防止や防犯力の向上にもつながります。

買物や散歩等での「ながら見守り」や不審者等を見つけた場合の早期通報にご協力をお願いします。



特殊詐欺、投資・ロマンス詐欺の被害が全道で多発しています。

SNSや電話、メールでの投資等のもうけ話やトラブルは詐欺を疑い相手に連絡することなく家族や警察(相談ダイヤル#9110)に相談しましょう！！

また「簡単」「即金」と謳うアルバイトは危険！手を出さないでね！

北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」で安全安心！
アプリにはあなたを守る機能が搭載されています。



防犯マップ

- ・身近なエリアの事件を確認
- ・マイエリアの不審者情報はプッシュ通知でお届け



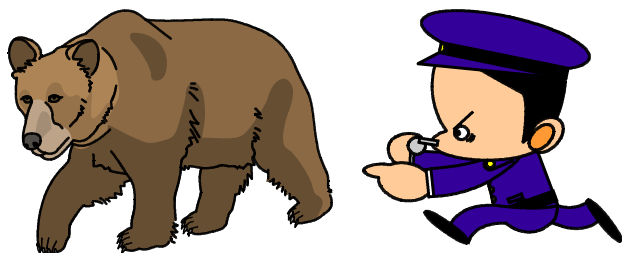
ちかん撃退・防犯ブザー

- ・表示画面で、周囲の人に助けを求めたり、痴漢に警告
- ・自分の位置を家族などに送信
※アプリ登録されている者に限る

インストールはこちらから



ヒグマに出会わないように・・・



山には複数人で入り、音で存在を知らせて！
ゴミを屋外や道端に捨てないようにしよう！
フンや足跡等の痕跡を見たら引き返そう！
もし出会ったら騒がず落ち着いて行動しよう
クマ撃退スプレーやクマ鈴、ラジオを携帯！

小学校・幼稚園・ひまわり団地で



ひまわり咲いたよ！！



おしらせ

9月1日から12月10日まで鹿部川河口付近でのさけますの採捕が禁止されています。気を付けましょう！

お問い合わせや相談は森警察署（01374-2-0110）までご連絡ください。

森警察署協議会通信

令和6年9月発行
函館方面森警察署
(代表電話)
01374-2-0110



【協議会開催風景】

【警察署協議会とは？】

警察は、効果的な犯罪の予防活動や関係機関との連携を行うため、まず、住民の生の声を十分に理解しなければなりません。

そのため、警察署では地域の有識者をお願いをし、警察署協議会委員となっただき、地域の安全に関する問題や警察署の活動について、署長以下の警察署幹部と協議を行う場を設けています。

森警察署では、毎回テーマを変えて、年度で計4回の開催を予定しております。

第二回 森警察署協議会開催結果

● 9月12日(木) 森警察署会議室にて開催(協議会委員4名、署員5名出席)

第二回警察署協議会テーマ 「ヒグマ対策」

(テーマ選定理由)

森警察署の管内である森町、鹿部町については、ヒグマの出没の件数が函館方面の他の警察署よりも多い傾向にあり、これから冬眠前のヒグマが餌を探して活発となることが予想されるため、第二回目の協議会テーマを「ヒグマ対策」としました。(※第一回目は6/21実施 テーマ「交通事故抑止」「自転車ヘルメット着用率向上」)

【警察署からの説明内容】

1 管内のヒグマの出没状況(R6.8時点)

- ・目撃が前年同期比よりも1件増加(計61件)
- ・昨年は12月7日に最終の目撃通報がある
- ・出没通報に関しては「目撃」が半数以上
- ・尾白内にて既に被害も発生している(コーン畑)
- ・鹿部町は「字本別」が圧倒的に多い傾向
- ・森町は「森高校」付近の林でも目撃が多い

3 「駆除」と「訓練」について

- ・「鳥獣保護管理法」と「警察官職務執行法」による駆除(発砲)が認められており、いずれもハンターと警察、関係機関の連携が必須
- ・状況的にハンターの判断のみでも発砲が可能となる場合がある。(緊急的な状況)
- ・森署では、両町役場、ハンターと連携して出没を想定した訓練を実施している。

2 ヒグマによる人身被害(全道単位)

- ・例年「春」と「秋」に多発している
- ・被害者の類型では「山菜採り」中の被害が多い傾向にある
- ・ヒグマが活発に動く時期に、人間の方からヒグマのエリアに踏み込み被害に遭うことが多い状況

4 人身被害に遭わないために

- ・管内の出没状況の確認
- ・大きな音で人の存在を知らせる
- ・単独行動を避け、ゴミを放置しない
- ・糞や足跡を見たらその場から離れる
～遭遇したら～
- ・大声を出したり走ったりしない
- ・ゆっくり後退する
- ・熊撃退スプレーを携行し使用する

【協議会委員意見】

1 現場臨場時間の短縮に向けた効果的な活動に期待

全国的に出没が多発しており、被害防止には警察・役場・ハンターの早期臨場が必要と思われるため、臨場時間の短縮に向けた活動が急務である。

2 他の市町村の取組を取り入れた活動の推進

他の市町村では、定時になると爆竹等で熊が近寄らないような取組が行われている。そうした活動も調査し、警察や自治体で行えるものを積極的に取り入れた活動に期待する。

3 ピンポイント対策について

出没場所が多い地区や、人身被害の発生が懸念される場所等、ポイントを絞った対策が必要である。今回は「森高校」「字本別」という場所が挙げられているため、行政と連携した活動に期待する。